令和七年十月三十一日とおり鳥獣保護区の存続期間を更新する。 - 鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律(平成十四年法律第八十八号)第二十八条第七項ただし書の規定により、次の徳島県告示第五百六十二号

徳島県知事 後 藤 田 正 純

りらか	区域	面積	存続期間	鳥獣保護区	
の 名 称			存級其間	指定区分	指定
鮎喰川鳥獣	徳島市不動本町一丁目の不動橋北詰を起点とし	-00	令和七年十一	集団渡来地	この区域は、
保 護 区	川第二樋門南詰に至り、同所から同樋門を北に進、同所から鮎喰川左岸堤防上道路を東に進み飯尾	クタール	和十七年十月		っており、鳥獣保護区に指定とした水鳥の集団渡来地にな
	管理用通路を東に進み飯尾川と鮎喰川との合流点み同樋門北詰に至り、同所から飯尾川左岸の河川		三十一日まで		し、野生鳥獣の保護を図る。
	西端との見通し線を南に進み県道徳島吉野線とのに至り、同所から徳島ゴルフ倶楽部吉野川コース				
	交点に至り、同所から同県道を西に進み不動橋南				
	詰に至り、同所から同橋を北に進み起点に至る線				
	で囲まれた一円の区域				
四国三郎橋	徳島市応神町東貞方のJR高徳線と県道土成徳	六三へク	同	身近な鳥獣生息地	この区域は、冬季にはカモ
鳥獣保護区	島線との交点を起点とし、同所から同県道を東に	タール			類を中心とする渡り鳥が飛来
	進み吉野川北岸河川敷地と水面との境界線との交				し、近くにある吉野川北岸河
	点に至り、同所から同境界線を南西に進みJR高				川敷グランドから容易に観察
	徳線との交点に至り、同所から同線を南に進み吉				できることから、鳥獣保護区
	野川右岸との交点に至り、同所から同川右岸を西				に指定し、鳥獣の生息環境の
	ととこまり司具首 こうではこさり、同斤から司具に進み四国三郎橋との交点に至り、同所から同橋				維持を図る。
	16				

鳥 福 獣井 保 び 護 辺 湖	獣 宗 護 区 鳥
県道との交点に至り、同所から同県道を東に進み 「関連との交点に至り、同所から同県道を東に進み 「関連を南西及び南に進み小野跨道橋に至り、同所から 「原高三三二・三メートル」に至り、同所から同橋を南に進み「標高三三二・三メートル」に至り、同所から更に 「標高三三二・三メートル」に至り、同所から更に 「標高三三二・三メートル」に至り、同所から更に 「ではみの鉄塔に至り、同所からででは がら同橋を南に進み四国電力送配電送電線南阿波 に変えるで北に進み四国電力送配電送電線南阿波 に変り、同所からででである。 「関連を東に進みの大学のでは、同所から同国 では、同所から同話です。 「の所がら同話です。 「の所がら同話です。 「の所がら同話です。 「の所がら同話です。 「の所がら同話です。 「の所がら同話です。 「の所がら同話です。 「の所がら同話です。 「の所がら同話です。 「の所がら同話です。 「の所がら同話です。 「の所がら同話です。 「の所がら同話です。 「のの表表の表表の表表の表表の表表の表表の表表の表表の表表の表表の表表の表表の表	根野郡上板町と名西郡石井町との境界線と六条大橋との交点を起点とし、同所から同橋を南に進たに至り、同所から同議岸を西に進み高瀬橋南詰に至り、同所から同議岸を西に進み高瀬橋南詰に至り、同所から同議岸を西に進み高瀬橋南詰に至り、同所から同議岸を西に進み高瀬橋南詰に至り、同所から同議岸を西に進み高瀬橋南詰に至り、同所から同議岸を西に進み高瀬橋南詰に至り、同所から同様を北に進み高瀬橋南詰に至り、同所から同様を北に進み高瀬橋南詰に至り、同所から同様を北に進み高瀬橋南詰に至り、同所から同境界線との交点に至り、同所から同境界線との交点に至り、同所から同境界線との交点に至り、同所から同境界線との交点に至り、同所から同境界線との交点に至り、同所から同境界線との交点に至り、同所から同境界線との交点に至り、同所から同境を南に進み六条大橋北詰に至り、同所から同橋を南に進みから同様を北詰に至り、同所から同橋を南に進み六条大橋北詰に至り、同所から同境界線と六条板野郡上板町と名西郡石井町との境界線と六条板野郡上板町と名西郡石井町との境界線と六条板野郡上板町と名西郡石井町との境界線と六条板野郡上板町と名西郡石井町との境界線と六条板野郡上板町と名西郡石井町との境界線と六条板野郡上板町と名西郡石井町との境界線と六条板野郡上板町と名西郡石井町との境界線と六条板野郡上板町との東には、大橋とのでは、大橋といいが、大橋といいが、大橋とのでは、大橋といいが、大橋といいが、大橋といいが、大橋とのでは、大橋とのでは、大橋といいが、大橋には、大橋には、大橋には、大橋には、大橋には、大橋には、大橋には、大橋には
クー タカ ー ルへ	ターハ ハハヘク
同	同
身近な鳥獣生息地	集団渡来地
電井川と下原谷川が合流する 福井川と下原谷川が合流する 付近に位置し、シイ、カシ類 を主体とする照葉樹が広く分 布していることから、野生鳥 獣の生息環境として良好であ ると認められる。また、同所 には県営福井ダムがあり、そ の周辺は水際公園として整備 されていることから、鳥獣保 されていることから、鳥獣保	し、野生鳥獣の保護を図る。とした水鳥の集団渡来地になら、野生鳥獣の保護を図る。

鳴門コウノー・鳴	護図 鳴滝鳥獣保 た同同を進 惣 ル 同 同 と の 一 所 所 北 み み 大 の 所 町 の	保護区 保護区 保護区 会 道 らに郷石境市 高 を 谷 と 高 道 り 同 進 を う に 郷 を う に り に り に り に り に り に り に り に り に り に
鳴門市大麻町の鳴門藍住大橋北詰を起点とし、	た一円の区域 美馬郡つるぎ町貞光字猿飼の鳴滝谷川と貞光川 美馬郡つるぎ町貞光字猿飼の鳴滝谷川と貞光川 美馬郡つるぎ町貞光字猿飼の鳴滝谷川と貞光川 美馬郡つるぎ町貞光字猿飼の鳴滝谷川と貞光川	は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、
四九〇へ	ター ハ ク	クタール
同	同	同
希少鳥獣生息地	同	森林鳥獣生息地
この区域は、レンコン畑を	でとした森林地域であり、常 が急傾斜であるため、人を寄 が急傾斜であるため、人を寄 が急傾斜であるため、人を寄 が急傾斜であるため、人を寄 が急傾斜であるため、人を寄 が急傾斜であるため、人を寄 が急傾斜であるため、人を寄 が急順斜であるため、人を寄 ではけない地形であり、地形 な鳥獣の生育に適しているこ とから、鳥獣保護区に指定し とから、鳥獣保護区に指定し を図る。	。 この区域は、高越山の山頂 がら高越寺に至る天然林の群落 に代表される自然度の高い森 に代表される自然度の高い森 はで構成されており、多様な 鳥獣の生息に適していること から、鳥獣保護区に指定し、 。 。

																護区	
																	トリ鳥獣保
板東橋線との交点に至り、同所から同市道を西に	交点に至り、同所から同県道を西に進み市道津慈	同県道を南西及び北西に進み県道徳島北灘線との	に進み県道津慈広島線との交点に至り、同所から	谷川東線との交点に至り、同所から同市道を南東	点に至り、同所から同市道を東に進み市道第二大	ら同市道を南に進み市道土池川放水路北線との交	東に進み市道堀江中央線との交点に至り、同所か	畑松村竹添線との交点に至り、同所から同市道を	の交点に至り、同所から同市道を東に進み市道高	から同市道を東に進み市道高畑居屋敷西中央線と	み市道高畑居屋敷西一号線との交点に至り、同所	号線との交点に至り、同所から同市道を南東に進	至り、同所から同市道を東に進み市道池谷浜田一	県道を北に進み市道池谷萩原春日橋線との交点に	進み県道徳島北灘線との交点に至り、同所から同	央一号線との交点に至り、同所から同市道を東に	同所から市道板東藍住線を北に進み市道板東南中
																	クタール
			全を図る。	めとする鳥類の生息環境の保	を保持し、コウノトリをはじ	区に指定し、当該区域の静寂	、希少鳥獣生息地の鳥獣保護	して期待されていることから	トリが飛来し、その繁殖地と	特別天然記念物であるコウノ	内希少野生動植物種かつ国の	七十五号)の規定に基づく国	関する法律 (平成四年法律第	ある野生動植物の種の保存に	ているため、絶滅のおそれの	り、水生生物が豊富に生息し	中心とした広大な湿地が広が